技術・家庭科　技術分野　2学年　　年間指導・評価計画

教科の目標　① 生活や社会で利用されているエネルギー変換、生物育成、及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
② 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現、具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学期	月	単元名・学習内容	予定時数	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
1	4 5 6 7	○エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ・エネルギー変換の技術とは ・発電の仕組みと特徴 ・電気を供給する仕組み ・電気回路について考えよう ・電気機器を安全に使用するための技術 ・運動エネルギーへの変換と利用 ・回転運動を伝える仕組み ・機械が動く仕組み ・機械の共通部品と保守点検の大切さ ・エネルギー変換の技術の工夫の読み取り	15	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類と特徴や，送電・配電の仕組みを理解している。 ・電気回路の仕組みについて理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 ・電気機器の安全な使い方について理解している。	・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・送電・配電の技術の工夫について考えている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。	・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。
		○エネルギー変換の技術による問題解決 ・問題の発見，課題の設定 ・電気回路の設計・製作 ・問題解決の評価，改善・修正		・構想に基づいて設計し，電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。	・「技術の見方・考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・構想に基づいて，製作の計画を立てる力を身に付けている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身に付けている。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって，知的財産を創造するとともに，他者のアイディアを尊重し，それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り，よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
2	8 9	○社会の発展とエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術の最適化 ・これからのエネルギー変換の技術		・エネルギー変換の技術の概念について理解している。	・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，エネルギー変換の技術を評価し，適切な選択，管理・運用，改良，応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
	10 11	○生物育成の技術の原理・法則と仕組み ○生物育成の技術による問題解決 ・生物育成の技術とは ・作物の育成環境を調節する技術 ・作物の成長を管理する技術 ・動物を育てる技術 ・水産生物を育てる技術 ・生物育成の技術の工夫の読み取り ・問題の発見，課題の設定 ・生物の育成計画 ・成長に合わせた適切な育成 ・問題解決の評価，改善・修正	8	・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・作物の成長を管理する技術について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。 ・植物の成長の状態に合わせて，適切な管理作業を行う技能を身に付けている。	・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り，「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・育成する作物に適した環境条件について考えている。 ・育成する目的に合わせて，栽培計画を立てる力を身に付けている。 ・育成の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身に付けている。	・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって，知的財産を創造するとともに，他者のアイディアを尊重し，それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り，よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
		○社会の発展と生物育成の技術 ・生物育成の技術の最適化 ・これからの生物育成の技術		・生物育成の技術の概念について理解している。	・生物育成の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生物育成の技術を評価し，適切な選択，管理・運用，改良，応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
2 3	12 1 2 3	○双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 ・双方向性のあるコンテンツとは ・問題の発見，課題の設定 ・コンテンツの構想 ・コンテンツのプログラムの制作 ・問題解決の評価，改善・修正	12	・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認，デバックができる技能を身に付けている。	・「技術の見方・考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。 ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 ・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身に付けている。	・主体的に情報の技術について考え，理解しようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって，知的財産を創造するとともに，他者のアイディアを尊重し，それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り，よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。
合　　計			35			